

## 『国連ハビタット福岡本部』とはどういうもの？

令和4年3月1日（水）に開かれた福岡県議会の自民党代表質問で、野原隆士議員（福岡県獣医師会副会長）の質問に対し、服部誠太郎知事が答弁された中に「**国連ハビタット福岡本部**」という発言がありました。

「国連ハビタット福岡本部」 皆さんは、ご存じでしょうか？



### 【国際連合に人間居住計画（ハビタット）】

国連ハビタットは、都市化と居住の問題に取り組む国連機関です。

1978年、国連総会によってケニアのナイロビに設立されました。

意思決定機関の管理理事会には、58カ国の理事国があり、日本も理事国になっています。

世界4か所に地域本部が設置されており、そのうちの一つ、アジア太平洋地域本部（1997年設立）が福岡市におかれています。

### 【国連ハビタット福岡本部（アジア太平洋担当）】

アジア太平洋地域における開発途上国の居住問題に取り組むとともに、「**住民主体のまちづくり**」を推進している**唯一の国連機関**です。

1997年8月、地域レベルでの事業活動強化と本部機能の分散化を図るため、アジア太平洋地域の統括事務所として福岡に開設されました。

今年の8月に創立25周年を迎えます。

現在、アジアの多くの国々では急速な都市化が進み、経済成長の一方でスラムの拡大など居住環境の悪化が深刻化しています。

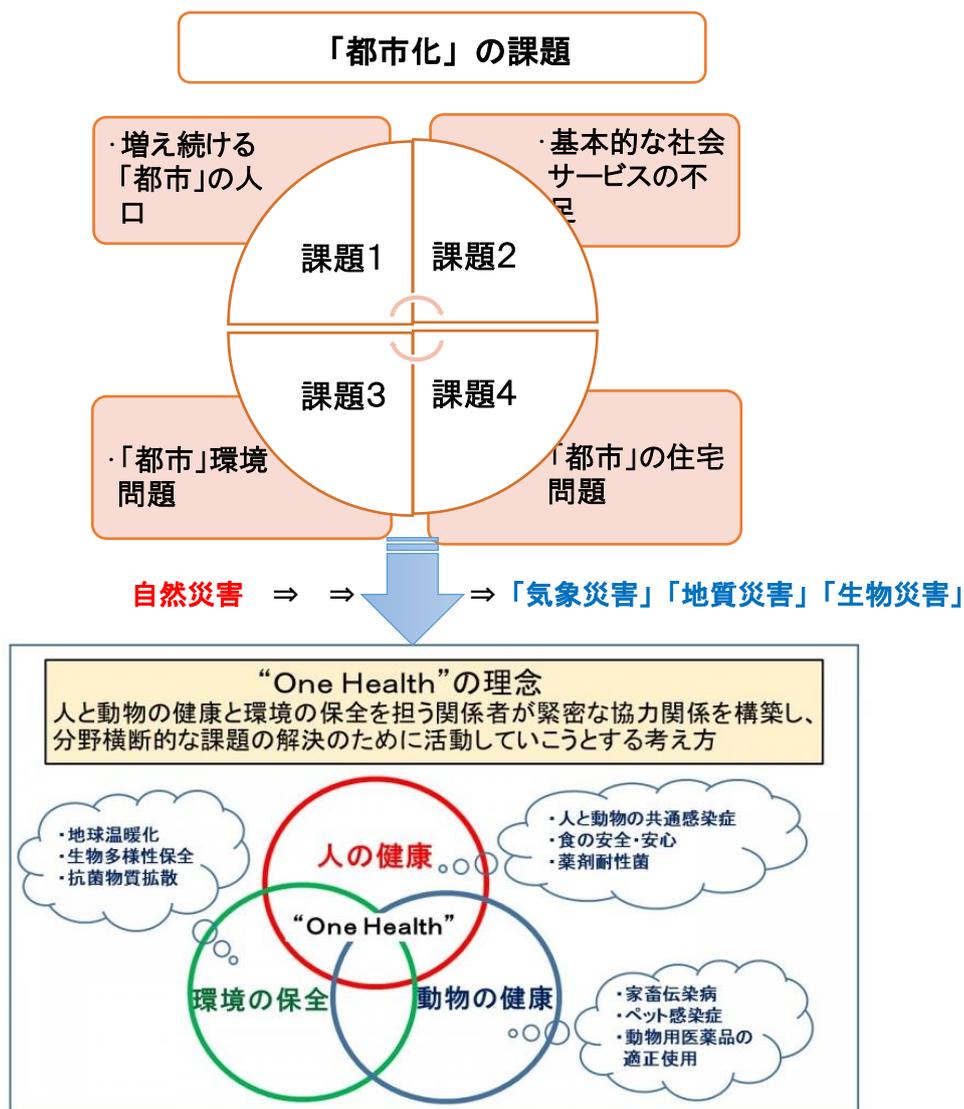
また、同地域において頻発する自然災害や紛争によって疲弊した住居やインフラ、そして人々の生活再建は急務です。

国連ハビタット福岡本部は、福岡県、福岡市、そして地元経済界などの支援のもと、「アジアの玄関口」である福岡からアジア太平洋地域の「住民を主体としたまちづくり」をサポートされています。

世界の都市は現在、人口統計学・環境・経済・社会また空間的にもこれまでにない課題に直面しています。

2030年には、世界の人口の10人に6人が都市部に居住すると予想されています。

世界の多くの場所で、適切な住宅の不足やスラムの増加、道路・公共交通機関、水、衛生、電機などのインフラの未整備や老朽化、貧困や失業の拡大、安全や治安の問題、郊外や健康問題もさらには気象変動の影響による自然災害や人災などへの対応など、その影響はすでに生じており、「都市化」の課題が問題になっています。



2022年3月4日

福岡ワンヘルス協議会・事務局